

高齢社会

フォーラム in 東京

参加
無料

多世代が共に輝く地域を創る

高齢化が進展する社会における様々な課題の解決には、多世代コミュニティの形成や、世代を超えて知恵を出し合うことが重要です。

今年度のフォーラムでは、多世代が支え合い活躍できる地域社会づくりについて、実践事例の紹介等を交えながら議論を深めていきます。

日時

平成28年7月20日(水)
10:00~15:30 (9:30開場)

会場

イノカンファレンスセンター
(定員:200名)

●プログラム

- 9:30 受付開始
- 10:00 開会挨拶 内閣府
- 10:10 【基調講演】
錆びない高齢者で輝く地域
学校法人昭和女子大学 理事長 **坂東 真理子**
- 11:10 高齢社会対策説明 内閣府高齢社会対策担当参事官
- 11:30 休憩(60分)
- 12:30 分科会
- 15:00 全体総括
- 15:30 閉会



主な著書

「図説 世界の中の日本の暮らし」「新 家族の時代」「米国きやりあうーまん事情」「副知事日記」「女性の品格」「日本の女性政策」「錆びない生き方」「日本人の美質」「60歳からしておきたいこと」「ソーシャル・ウーマン」「女性の知性の磨き方」など著書多数。

第1分科会

多世代交流のコミュニティ

高齢者と若者が共に安心して暮らせる住まいと地域社会を求めて格差と貧困が拡大する今日、高齢世代と若者世代との対立をあおるような記事があふれています。今こそ世代間の対立ではなく協調や連帯を築く必要があります。高齢者と若者との協働を通じて、安心して暮らせる住まいと地域社会を創るために何が必要か、実践例を基に考えます。

●コーディネーター

【1部】
袖井 孝子

お茶の水女子大学名誉教授



【2部】
宮崎 冴子

一般社団法人 社会貢献推進機構
キャリア開発研究所 所長



●パネリスト

近山 恵子 一般社団法人コミュニティネットワーク協会副会長

●まちづくり30年の経験から、高齢者が自立し協力して暮らすコミュニティを各地に展開。

白木里恵子 早稲田大学創造理工学部助教

●多世代が共に暮らすコネクティブハウスかんかん森に居住。

コネクティブハウジングについて研究。

太田 善朗 NPO法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ元理事

●在職中の経験を活かして、子育て支援事業や保育園の第三者評価事業に従事。

第2分科会

シニアは地方創生の担い手

地方消滅、人口減少、老人漂流と巷は元気の出ない四字熟語ばかりです。今、大切なのはピンチをチャンスに変える逆転の発想です。シニアは社会の担い手という視点から、地方創生の担い手たるシニアや次世代シニアが挑戦している好事例を紹介し、出席者と意見交換を行います。

●コーディネーター

松田 智生

株式会社 三菱総合研究所
プラチナ社会研究センター
主席研究員・チーフプロデューサー



●パネリスト

神永 剛 一般社団法人 デイレクトフォース
理科実験グループ グループリーダー

●外資系化学会社の日本法人社長の勤務経験を活かして小中学生向け理科実験授業で活躍中。

町田 美紀 株式会社and.取締役 and.message プロジェクト代表
高知おせっかい協会共同代表

●故郷の高知にUターンし、デザイン事務所と地元食材販売と子育てを両立。

高枝 佳男 株式会社oor 代表取締役

●自然豊かな奥会津の古民家からITビジネスで世界を目指し、

過疎高齢化問題も解決中。

永沢 映 NPO法人コミュニティビジネスサポートセンター 代表理事

●コミュニティビジネス支援のNPO代表理事として、団塊の世代の活躍場所作りや商店街活性化などに注力。

第3分科会

カリスマな活動から 地域それぞれの在り方を探る

先駆的な取り組みを自分の地域でもやってみたいと考えても、凄すぎて真似できないと断念する活動団体が少なくありません。本分科会では、先駆的な取り組みを、地域特性や持っている力に応じて自分達流にアレンジして展開する活動者をパネリストに迎え、その在り方を探ります。

●コーディネーター

澤岡 詩野

公益財団法人 ダイア高齢社会研究財団
主任研究員



●パネリスト

高村 ヒデ NPO法人江戸川・地域・共生を考える会 代表

●「富山型デイサービス」を都市部大規模集合団地で実現する「一緒にいいねひなたぼっこ」。

河村 俊一 一般社団法人 認知症予防&サポート研究所
アングル 代表理事

●大田区高齢者見守りネットワーク「みま〜も」を地方都市で実現する「みま〜も・ぐんま」。

瑠璃川正子 狹窪家族プロジェクト 代表

●新宿区の「暮らしの保健室」を高齢化の進む住宅地で実現する「狹窪暮らしの保健室」。